

# 2018年度第3回SIAAマーク表示推進委員会 議事録

2019/03/12

3/18確定

SIAAマーク表示推進委員会

文責:長谷川

日時:2019年3月8日

場所:石塚硝子(愛知県)

出席者:敬称略

○:出席、×:欠席

黒河	新坂	樋口	石田	鈴木(アイ)	徳島	加藤	鈴木(フエ)	有本
×	○	○	×	×	○	×	×	×
増田(シナ)	陳	阿部	児玉		平沼オフ	錠者オフ	永田オフ	長谷川
○	○	×	×		○	×	○	○

## 内容

議事録の付番は、前回委員会議事録と併せました。

### 1.国内(外)へのSIAAマーク普及・広報

#### 1)国際福祉機器展2019について

- ・第2回委員会で確認決定の通り、2019国際福祉機器展への出展申し込みを完了したことを確認した。
- ・そして、新坂副委員長より報告のあった概略スケジュールを進めることを確認した。
- ・2018年度出展の反省より、次課題を先行して進めておくこととした。
  - 景品を各500個準備する。
    - ボールペン(SIAAマークの緑色へ)、ウエットティッシュ、ラップ
    - スポンジ(透明大サイズケースも借りる)・・・石田委員へ依頼一任する
    - まな板・・・新たに追加。新坂副委員長に一任。
  - パンフレット、リーフレット(事務局)
    - 4か国語SIAAパンフレット
    - リーフレット(日本語、中国語)
    - 防カビ(日本語) すべて各100部を会場に持ち込み、状況により適宜追加。
  - 「ウイルス」のPRを追加する
    - パネル用データ、簡易パンフレットの作成。(事務局→抗ウイルス委員会へ依頼)
  - マニュアル作成
    - 景品を渡すルール
      - 1例)QRコード等よりSIAA-HPに入っただけではなく、HP内のお知らせ記事をクリックしたら差し上げることとし、SIAAをしっかりと見てもらう工夫を追加する。
    - 防カビ、抗ウイルスの説明方法、質疑応答等の説明書作成(事務局→各委員会へ依頼)
  - 立ち合いメンバーの増員
    - 防カビ、抗ウイルスより、各1名/dayをお願いしたい。(事務局→各委員会へ依頼)
- ・加えて、手書きアンケートを廃する方向は全員一致の思いだが、本日は代案がないまま議論を終えた。よって、2019年度第1回委員会で再度協議することとした。

#### 3)広報活動

- ・新たに都営地下鉄ステッカー広告(ヘルプマーク&マタニティマークタイアップ企画)にて、PR広報を行うことを確認決定した。(費用は132万円)
  - 4月から1年間 都営地下鉄大江戸線 2編成での広告となる。
  - 2020年度も継続する可能性が考えられるため、2020年度分の仮予約も行った。
  - 2020年度も継続ならば、英語併記を検討する。
- ・新広報策の検討(最後にフリーディスカッションを行った。)
  - 2019年度当委員会の予算概算見通しは4百万円ほどになりそうだが、この中に新たな広報宣伝活動に使える分はない。このため費用をほとんど掛けない活動を検討しなければならないことが前提条件になる。
  - 意見としては次案が出たが、引き続き、協議継続事項となった。
    - ・会員企業の社員食堂等でのSIAAポスター掲示
    - ・会員企業における企業イベントへの便乗(例.弘進ゴム社 スーパーボール作り体験)
    - ・ホームセンター等でSIAA製品販売コーナー設置に向けた流通系企業の入会督促
    - ・インスタグラムに次ぐSNSの利用(Twitter,ブログ)

#### 4)2020東京オリンピックに向け、ケータリング業者選定に合わせた食堂の備品(事務局)

昨年12月事務局よりSIAA関係会員に向け、確定したケータリング業者の案内メールを発信済み。おそらく数社がやりとり折衝等行っていると推測される。

## 5) その他

### ① エスカレーター手すりフィルムの状況報告(事務局)

新たに順天堂病院(お茶の水)にSIAAマーク付きが設置された。

## 2. 抗菌加工製品とSIAAマーク普及度の市場調査(アンケート調査)

- ・アンケートで当委員会へ入会意思のあった会員すべてに入会督促を行うも、すべて断られた。アンケート回答側としては、そのようなニュアンスで受け止めずに選択したとのことで、この設問表現を再考することとした。  
例.私はSIAAマーク表示推進委員会に入会します。

## 3. 抗菌加工製品の調査(抗菌性の確認)確認と改善勧告について

生活用品×100円均一に関連する製品収集状況について(樋口)

- ・現況は、試験結果報告書レター送付の要否確認レターを郵送したところ。回答期限を3/15と設定しており、この期日を待つ次アクションへ移行する。
- ・事務局より案内があった定期的な性能チェック制度導入と本テーマは被るところがあるが、目的および考え方が異なる。このため新しい制度が導入されてからは非会員の抗菌加工製品のみとなる。が、引き続き協議を重ね、目的に沿った内容に修正していくテーマである。

### 【次年度】

- ・SIAA会員、国際福祉機器展のアンケートより浴室関係が適当であろうとの意見から、ホームセンター等で販売されているプライベートブランドの狙い撃ちがよからうとの議論に発展した。
- ・次ブランドについての実現可否(抗菌加工製品の購入可否)についてWeb調査し(樋口)、2019年度第1回委員会で協議決定することとした。  
ニトリ、ヨーカドー、イオン、カインズ、DCM、コメリ

## 4. その他

### ・2019年度当委員会 委員長について

-長谷川委員長より、会社都合により委員長職は今年度限りとなる報告があった。  
(すでに3/26理事会での審議事項となっている。)

-後任の協議等は行われておらず、まずは当委員会メンバーでの話し合いからスタートさせたいという事務局・委員長の一致した思いから、この場で協議を行った。

-結論は、2019年度より樋口副委員長にお願いしたいとの思いで全員一致した。

全体を掌握したコメントができている、提案&実践の行動力は見習うべきところ、任せられる、そして、本人のやる気度も十分感じられる、等々の賛同意見のみの内容であった。

また事務局より、各試験機関、製品メーカー等との会話・情報収集の機会が増えることは会社業務においてもプラスになるはず、すでにそういった例は散見されていると。

※樋口副委員長の委員長就任に向けて、事務局を中心に細部の詰めを行うこととした。

- ・2019年度第1回委員会の日時は、新委員長の内示確定を経て計画することとした。  
5~6月に東京で、という見通しである。

以上